**数学科　学習指導略案**

１　校種・学年　中学校・第３学年

２　本時の目標

・アンケート結果の中から、相関関係のある２つの調査項目を見出す。

・見出した相関関係について理由を考え、説明する。

　 ＜本時の展開＞

|  | **生徒の学習活動** | **指導上の留意点・評価** | **備考** |
| --- | --- | --- | --- |
| 準備 | 「みんなの実態調査」に回答し、集計を行なう。 | ・生活実態をグラフ化することで「気づくことがあるかもしれない。」ということを伝える。 | ・アンケートの作り方についても、別の機会に指導できると良い。 |
| 導入 | 【全体】前の時間に実施した、全10項目（睡眠時間等）についてのアンケートをふり返る。「みんなの実態調査アンケート」の結果を共有する。 | ・前の時間に実施した「みんなの実態調査アンケート」を想起させる。・相関関係について例示しながら説明する。因果関係との違いも説明。・本時の目標を提示する。・「相関」と言う言葉は使わずに、「２つの項目で関連のある傾向」が見えることを伝える。 | ・予想→調査→表現という流れで学習を行う。 |
| 展開 | 【個人】・相関関係のある２つの項目を予想する。＜予想例＞・睡眠時間とスマートフォンの利用時間・家庭学習時間と読書時間【グループ】・予想した結果について意見交換を行い、相関がありそうな2つの項目を決定する。・相関がありそうな2つの項目について2つのグラフを作り資料の相関関係の有無を調べる。 | ・「みんなの実態調査アンケート」の結果を配布する。・個人で考えた後グループ(5人)を作る・2つの資料を扱うにあたって、どのグラフを用いれば、相手に伝わりやすいか発問する。＜例＞「睡眠時間とスマートフォンの利用時間に相関があることを示したい場合、どのグラフを使うのが良いだろうか」・これまでに学習したグラフを提示し、それぞれの特徴を想起させる。 | ・因果関係と相関関係を混同しないように注意する。・グラフの種類（円グラフ、度数分布多角形、帯グラフ）を例示する。PCを使用する場合はExcelの機能に散布図があることを示す。 |
| 【グループ】相関がありそうな2つの項目の相関関係の有無を結論付け、その根拠をまとめ、発表の準備をする。 | ・帯グラフや折れ線グラフ等に特徴があり、「傾向」が見てとることが出来るようにする。・同じ組み合わせがある場合であっても発表内容が違うことがあることを伝える。 |  |
| まとめ | 【全体】グループごとに結論を発表する。相関関係のある２つの資料を見つけ、データをもとに説明する。【個人】活動をふり返り、気付きをまとめる。 | 【評価基準】相関関係の有無の説明について、以下の点について講評する。Ａ：適切なグラフを用いているか。Ｂ：説明内容がグラフから見てとれるか。 | ・生徒の発言を肯定的に受け止める。 |